

# くにみ

## ご挨拶

国見町長 関 口 道 孝

かねてより関係皆々様のご配慮を煩わしております町民福祉センター新築工事が、昨年十一月着工以来順調に進ちよくし、町の中心地観月台にりっぱに完成いたしました設計、監督を担当いたしました私木設計事務所、良心的に工事を施工されました地主各位をはじめ、何かとご協力をいただきました町民皆々様に心から厚くお礼申し上げます。

私は福祉センターが文化の殿堂として町民の融和を図り得るよう職員ともども努力いたす所存であります。

町民ひとしく、広く利用されるべき福祉センターの開所にあたり、私は特に「時間の励行」を提唱するものであります。

センター使用については会の主催者はもちろん、参會者も相協力し、開会、閉会の時間を厳守され、無駄を省き他に迷惑をかける良い慣習を町全般に浸透するようご努力をお願いいたします。

【第153号】  
昭和45年6月15日発行  
非 売 品  
発行所 国見町公民館  
発行人 佐藤善次郎  
編集人 佐野貞治  
印刷所 国見印刷所

(町の人口)  
昭和45年5月1日現在  
世帯数 2,551戸  
人口 { 男 5,780人  
女 6,265人  
計 12,045人

## 完成おめでとうございます

国見町議会議長 東海林 一郎

私達町民待望の、町民福祉センターがここにりっぱに完成を見ましたことはまことに同慶にたえません。心からお喜び申し上げます。

このたびの福祉センター建設にあたり、とほしい財政の中にあつて年度工事に階切つた町当局の勇断と誠意をもつて工事の施工につとめられた工事請負者をはじめ、ご協力を賜りました関係各位に対し深く敬意と感謝の意を表す次第であります。

観月台の一角に美しく建つ町民福祉センターは国見町のすべての町民が心やすく利用できるべき教養、文化の場であり、ひいては町民融和の場でもあらうと信じます。

新築された福祉センターが国見町の文化向上に大きな役割りを果たすことを期待するとともに、福祉センター完成を契機として町がますます発展されんことを祈願し、ご挨拶といたします。

## 気軽にご利用下さい

国見町教育長 岩谷 唯 近

町民の皆さんが久しく待望していた福祉センターが完成いたしましたことは、町民の皆さんと共に本当に喜びに堪えないことではあります。このセンターは敷地、総工費、内部設備を含めて約八千四百万円の巨費を投じて完成されたもので当町としては発足以来の大事業となつたわけであります。

ご承知のように今の世の中は非常なスピードで進歩発展しているわけが昔学校で習つて

た知識や技能では到底この激しい時代の進歩に対応できなくなつて参りました。

今までの世の中では物の価値といふものが非常に高く評価されておりました。ところが現在では情報価値が物の価値に優先するいわゆる情報化社会に移行しつつあるわけであります。新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、等からこう水のように流れてくる情報をいかに価値体系の基盤に結びつけてゆくかの知識が必要になつてき

## 就任のごあいさつ

町民福祉センター所長 佐藤 善次郎

待望久しかった社会教育の殿堂、町民福祉の中心施設である福祉センターが昨年十一月着工以来順調な工事過程を経て、めでたく六月十二日落成式を挙げ十五日業務を開始した。このような当町にとり画期的な大企画が実現されたのは、町長さんを始め町当局の熱意と、これに協賛を惜しまなかつた町議会の皆様のお力によることであり、この点町民の一人として衷心から敬意と感謝の意を表すものである。私にとっては二十年来の懸案であり、夢に見た施設である。ここに多年の悲願が達せられた。観月台上に吾妻連峰を背景に自然と立って立つる白亜の殿堂は、おそらく国見町発展の象徴となることであろう。私はその福祉センターの初代所長として就任六月一日発令され直ちに赴任した。

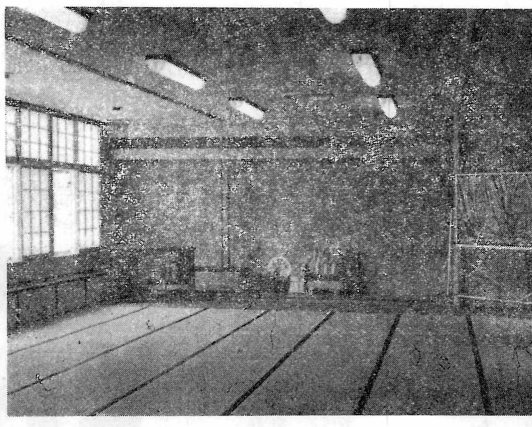
まことに身に余る光栄であると同時に、責任の重大さを痛感するものである。

なお、時代の進歩の速さは時間というものが一段と貴重なものになってまいりました。そこで落成式の式辞の中で町長さんが特に時間励行を強く訴えられたのであります。福祉センター建設を機会に町民一人ひとりのご協力を得て時間励行を一大町民運動として習慣化を図りたいと思ひますので、各位の一層のご協力をお願い申し上げます。

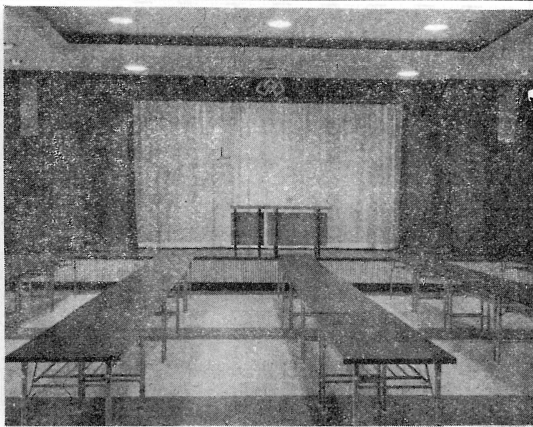
町民の皆さんに福祉センター建設の意義を充分ご理解をいただき、心よくご利用いただけるよう、町民各位の福祉が一段と向上されますよう心からお祈りしてお祝いのごことばといたします。

お悔み申し上げます  
(五月中に亡くなられた方 敬称略す)

死亡日	氏 名	満年齢	住 所
5/1	氏 慶五郎	79	藤田 日渡3の23
5/8	菊地美起子	2	石母田上原61
5/8	半沢トヨ	79	森山上野台59の35
5/8	小西保兵衛	68	藤田 南14
5/9	波谷良平	71	光明寺沖18
5/23	八島 シヲ	69	高城 川崎3



老人・子供室



講 堂

◎ 福祉センターへの電話は 当分の間 有線 四一五六番に



花見山でひと休みする明治学級生

### 明治学級

#### 花見山や老人ホーム あそぞら教室で福島見学

国見町明治学級では五月三十日第二回あそぞら教室を実施し、福島方面の見学学習をした。

参加者六十七名、二台の大形バスに分乗し、午前八時二十分出発、午後六時帰着まで十時間、規律正しく行動し、盛りたたくさんのスケジュールをこなしたのはみごとであった。見学箇所次のとおり

- 1、瀬上町台蔵寺に寄り、石母田供養石塔の碑文(一寧一山書)の木版を拝観する。さくらの一枚板に彫った立派なものである。
- 2、信夫文知指では文知指石多宝塔、観音様(信達二番の札所)をはじめ数々の文
- 3、福島競馬場では、昨年完成した大スタンド、長さ二一六メートル、奥行四三メートル、高さ地上三階二〇メートル収容人員一万二千人、投票窓口七五八窓といひつんくろスタンドを見てびっくり、わが町の福祉センターや総合病院の工事を請負った大成建設KKが九か月で完成したという。
- 4、県庁では、石橋議員さんの案内で知事室、議長室、議会議場など見学、屋上から四方のけしきを眺めており、次に
- 5、渡利の花見山に行く。阿部伊勢次郎氏(七〇才)が五十年がかりでつくった

大植物園、四季折々の花が咲いている大花園である。今は公園として無料で入園させ、一般の憩いの場として使われている。もと養蚕をした大きな母屋は改装し、畳を敷いて休憩所としている。(これは一日五〇円)

6、五月町康善寺(住職海野篤之氏)境内にある古河善兵衛様のお墓に参詣する。西根様のお墓に浴している川西住民として忘れてならない大恩人である。

7、信夫山トンネルをくぐり

新しく開通した十三号線を通って飯坂温泉、老人ホームに着く。大広間で各部署ごとに壇上に立ち、自己紹介をする。ここには現在五十一名が入居し、それぞれ個室を持ち、一か月一万五〇〇円

国見町婦人会連絡協議会では五月二十六日役員会を開き、ことしの中央婦人学級開設について次のような要項を決定しております。皆さんの福祉センターがみごとにご利用するため、お友だちをさそっておそろいでおいでください。

記

●とき：六月二十九日(月)午後一時半

●ところ：町民福祉センター

●講師：前保原公民館長 長谷川先生

●演題：わたくしの健康法と千歳学級

今月の明治学級 29日

今月は前保原公民館館長長谷川先生をお招きし、その健康法と保原町(おぢとせ)学級のあり方をお話しします。先生はことし七十七歳、独特の健康法として働いておられます。昨年まで保原町公民館館長を務め、優良公民館として県の表彰を受けられ、特にその千歳学級は天下にその名がひび

町民福祉センターがみごとにご利用するため、お友だちをさそっておそろいでおいでください。

記

●とき：六月二十九日(月)午後一時半

●ところ：町民福祉センター

●講師：前保原公民館長 長谷川先生

●演題：わたくしの健康法と千歳学級

さあことしも頑張りましょう

中央婦人学級要項をきまらる

国見町婦人会連絡協議会では五月二十六日役員会を開き、ことしの中央婦人学級開設について次のような要項を決定しております。皆さんの福祉センターがみごとにご利用するため、お友だちをさそっておそろいでおいでください。

記

●とき：六月二十九日(月)午後一時半

●ところ：町民福祉センター

●講師：前保原公民館長 長谷川先生

●演題：わたくしの健康法と千歳学級

希望者の傍聴もみとめる。演題と講師

- 1、体力づくりと食生活について(後藤英子氏外)
- 2、体力づくりと成人病について(本宿尚氏)
- 3、物価と消費生活について(佐藤輝夫氏)
- 4、新しいせいんとそのとけいについて
- 5、家族制度と老人問題について(永井文心氏)
- 6、郷土の歴史と文化財について(秋山政一氏)
- 7、あかるい政治と選挙について(菅野八千代氏)
- 8、近代火災と婦人の役割について(加藤俊雄氏)
- 9、社会の動きについて(新聞社)
- 10、新生活運動とその進めかたについて(山田昌二氏)

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町公民館と共催とする。

二、場所

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

おめでとうございませう

(五月中出生届をされた方 敬称略す)

27	高原 敏子
15	一条 節夫
14	瀬戸 亜希子
14	佐藤 博之
7	大槻 勉
7	川井 美子
6	浅野 美枝子
4	宮内 憲一郎
3	喜一の長男
2	正夫の長男
2	祥五の長男
2	忠行の長女
2	忠一の長男
2	孝一の長女
2	保子の長女
2	幸助の長男
2	西大枝 霞沢
2	西大枝 霞沢
2	小坂 47の1

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、

町民福祉センターの施設を十分に活用する。

三、対象

各部署から推せんされた約五〇名をもって定員とし、